

「植生」を祭神とした日本でただ一つの神社

日本植生の守護神



植生神社

日本国の弥栄と業績向上への感謝、さらなる発展への祈願、また安全を願って、昭和41年12月24日、旧本社の正門を入った前庭に「植生神社」が建立されました。

ご祭神は宇宙根本唯一の大神のほか天照大神、野槌之命（のづちのみこと）、萱野姫之命（かやのひめのみこと）の三柱で、いずれも天地の恵みにより、万物の育成を司る神々であります。

ご神体には創業者柴田正の手で、昭和23年初めに育苗し、昭和25年に岡山県久米郡久米町山王山に植栽したスギの根株と、昭和31年に初めて使用した植生盤製造機リョッカーのハンドル、人工芝ドハタイ製造機の基部が納められています。

建立以来、年3回植生神社祭を執り行っております。